

# 積算ソフト頂 2015 簡易説明書

株式会社エージェンシーソフト 2015.4

積算ソフト頂 2015 は「積算ソフト頂」の 2015 年度版です。以下「頂」と呼びます。

既に 2014 年版以前の版を使っているお客様は、最後の「頂 2014 ユーザの注意点」を必ずお読みください。

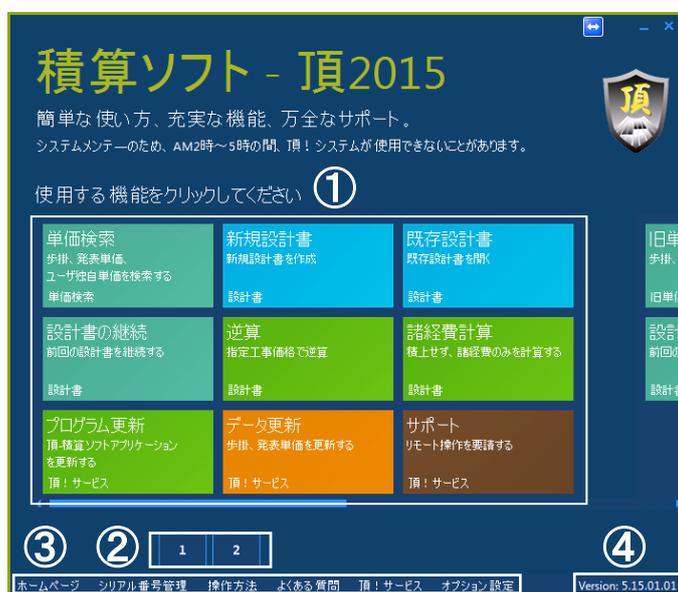
## 「頂」の起動

### 「頂」の起動方法



「頂」をインストール後、デスクトップに左のアイコンが生成されます。それをダブルクリックします。

## 「頂」のスタート画面



「頂」を起動すると、スタート画面が起動します。それぞれのボタンをワンクリックで、対応する機能が起動されます。

### メイン機能エリア

単価検索：各種単価を調べる

新規設計書：設計書を新規作成する

既存設計書：既存の設計書を開く

設計書を継続：前回の設計書を開く

逆算：工事価格から直接工事費、経費を逆算する

諸経費計算：直接工事費から経費を計算する

プログラム更新：プログラムを更新する

データ更新：各種単価データを更新する

サポート：リモートサポートを受ける

1. メイン機能エリア
2. ページ切り替え
3. 各種リンク、サブ機能
4. バージョン情報

### 各種リンク、サブ機能

シリアル番号管理：シリアル番号を入力、確認する

オプション設定：通信系オプション設定

## 「頂」の単価検索

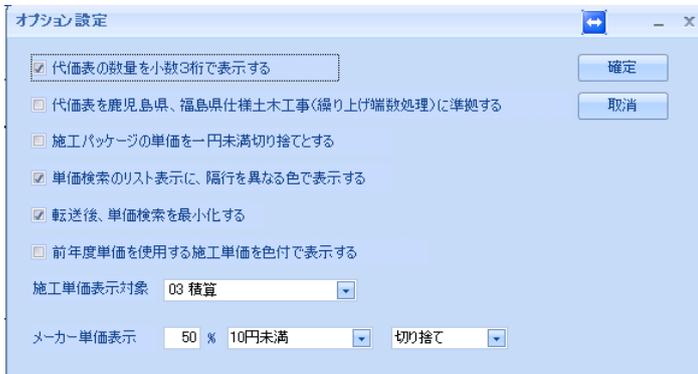
### 「頂」の単価検索画面



### 単価検索の画面

1. 各種の単価はそれぞれのタブで管理しています。
2. 各タブの中に、単価の条件を設定する（例えば、単価年度、地区、豪雪有無など）。
3. 「転送」ボタンで選択したデータを設計書に転送します。（転送する前に、転送先の設計書の「単価検索」ボタンを必ず一回押してください）。

## 「頂」の単価検索のオプション



### 単価検索のオプション画面

メニュー 設定/オプション で表示します。

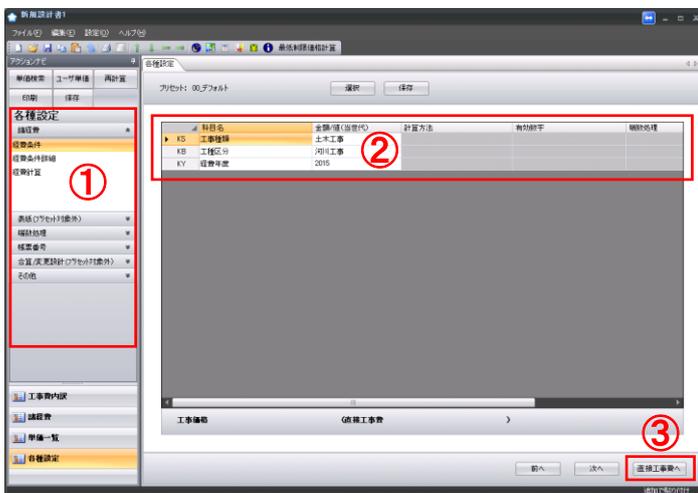
### 注意：

単価検索のオプションの設定は、設計書と連動していません。設計書の各種設定の項目は単価検索よりも多いためです。

単価検索から設計書にデータを転送すると、単価や金額が微妙に変わる場合があります。設定の差異によるものです。設計書に貼り付けた後の単価、金額が有効になります。

## 「頂」の設計書画面

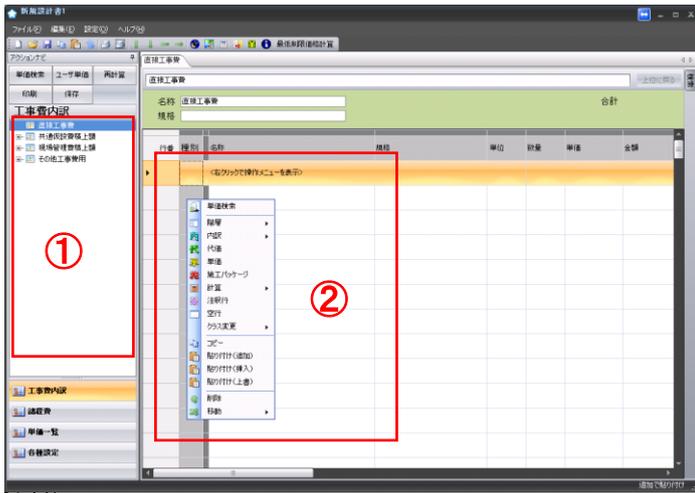
### 設計書を作成する



### 設計書の新規作成

1. 設計書を新規作成後、必ず設計書の各種設定を行なって下さい。此方で各種設定を選択します。
2. 各項目の内容を確認し、設定を行います。
3. 設定終了後、直接工事費の画面を表示します。

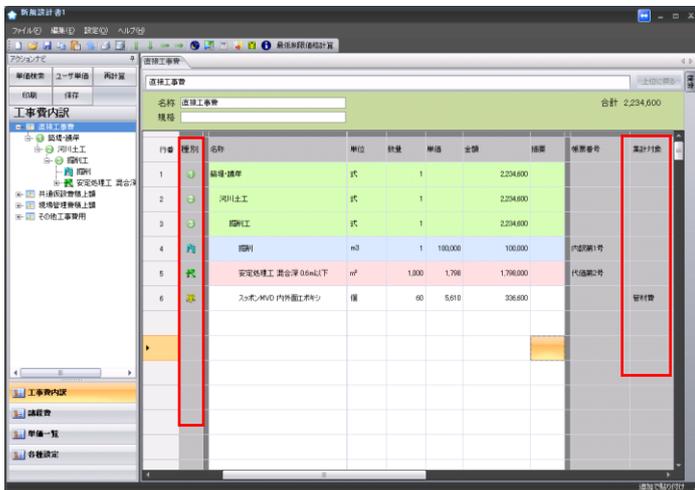
## 設計書を開く



設計書を開くと、直接工事費の画面が表示されます。

1. 工事費内訳の内容構成をツリー上で表示されます。
2. ツリーで上位下位関係を確認し、右ボタンで操作メニューから詳細行を作ります。

## 工事費の積み上げ



詳細行の種別

階層：同一画面に列記する明細の集計行

内訳：別画面に列記する明細の集計行

代価：積算数量あたりの施工単価

単価：機労材市場単価

施工パッケージ：施工パッケージ型積算方式

計算：計算式を用いて計算する行

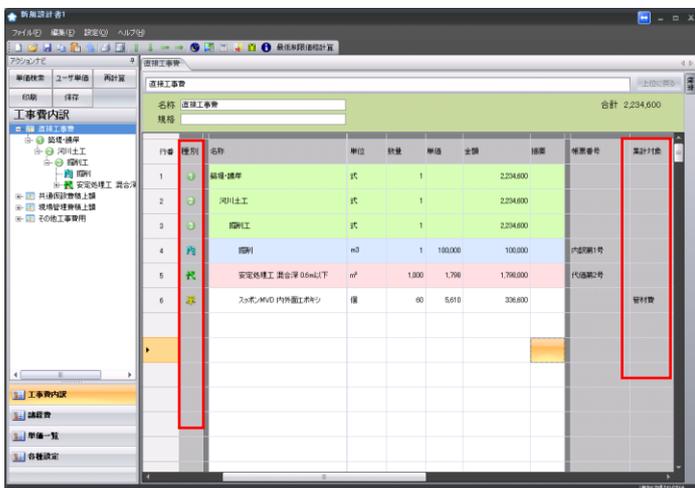
集計対象

経費計算時、管材費、処分費など自動集計する項目です。

行の移動

ツールバーの矢印ボタンで、行の移動が出来ます。

## 施工パッケージの機労材を変える



施工パッケージの機労材を変える

1. 単価検索で、対象の施工パッケージを変えずに設計書に転送します。
2. 設計書で施工パッケージの詳細を表示します。
3. 変更したい機労材を選んで、右クリックで単価検索から変えたい機労材を検索し、転送します。

東京単価を変える場合

1. 設計書で施工パッケージの詳細を表示します。
2. 単価（東京）の値を直接に編集します。

## 単価一覧

行番	品名	単位	数量	単価	金額	
1	【労務費】				1,788,300	
2	特殊運搬手	人	50	10,600	530,000	
3	普通作業員	人	30	15,700	471,000	
4	土木一般事務係	人	13	20,900	271,700	
5	【材料費】				3,055,600	
6	3x3x4(国産)保良用	標準深さ6x4幅20m	使用口	22	151,000	3,322,000
7	モータースタ工程	プレート幅1m	使用口	24	15,400	369,600
8	3x3x4(国産)保良用	標準深さ30m	使用口	24	11,000	264,000
9	【材料費】				1,536,459	
10	セト半面化粧一般敷設土用	7x12x100	1	100	11,700	11,700,000
11	転送	一般用	ZZ	2841	129	366,459

## 単価一覧

機労材市場単価：使用する労務費、材料費などの一覧

代価一覧：使用する施工単価の一覧

施工パッケージ一覧：使用する施工パッケージの一覧

## 注意：

機労材市場単価の各種単価の合計は、丸め端数処理、諸雑費処理などの影響で、経費計算の中で管材費や処分費などの合計は異なります。

## 諸経費計算

科目名	金額(自費内)	計算方法	有効数字	端数処理
A 直接工事費	2,234,600	自動計算	100円未満	切り捨て
B 共通設計費	279,000	自動計算	1000円未満	切り捨て
C 共通材料費	2,234,600	自動計算	100円未満	切り捨て
D 共通管理費	61,200	自動計算	小數第4位未満	四捨五入
E1 イメージング作業手続		計算しない		
F1 イメージング作業付添録		計算しない		
G0 イメージング作業手続		計算しない		
H 共通設計費	279,000	自動計算	100円未満	切り捨て
I 共通設計費	279,000	自動計算	100円未満	切り捨て
J 共通設計費	2,513,600	自動計算	100円未満	切り捨て
K 共通設計費	859,000	自動計算	1000円未満	切り捨て
Q 一般管理費	3,471,500	自動計算	100円未満	切り捨て
R 一般管理費	6,000	自動計算	小數第4位未満	四捨五入
U 設計費		一般管理費に含まれる	100円未満	切り捨て
WR 一般管理費	-987	自動計算	100円未満	切り捨て
W 一般管理費	768,400	自動計算	100円未満	切り捨て
Z0 5%の工事費		自動計算	100円未満	切り捨て
X 工事費	4,175,000	自動計算	1000円未満	切り捨て
Y 消費税	284,000	自動計算	100円未満	切り捨て
YR 消費税	0.00	自動計算	小數第2位未満	四捨五入
ZA 工事費	4,559,000	自動計算	100円未満	切り捨て

## 諸経費計算

経費条件、経費条件詳細は必ず確認します。

経費計算に、最終の経費計算結果が入ります。

経費計算の「計算方法」「有効数字」「端数処理」も指示に合うように設定します。

## 設計書を印刷する

項目	内容
印刷フォーマット	
-印刷フォーマット	50 上段下段 12行 A4横
-ユーザフォーマット	
-金額抜き印刷	しない
印刷対象	
-表紙	工事設計書
-本工事内訳書	印刷する
-内訳詳細	印刷する
-代価詳細	印刷する
-二次代価詳細	印刷しない
-施工パッケージ詳細	印刷する
-単価調書	印刷する
-落札額	印刷しない
-単価調書は材料費のみ	印刷しない
-代価表は新規代価のみ	印刷しない
単価表の設定	
-当世代(最新設計)の列名	変更設計
-前世代(一箇前の設計)の列名	当初設計
-金額の印を印字	しない

## 設計書を印刷する

1. ツールバーの「印刷」ボタンをクリックします。

2. 印刷条件を設定します。

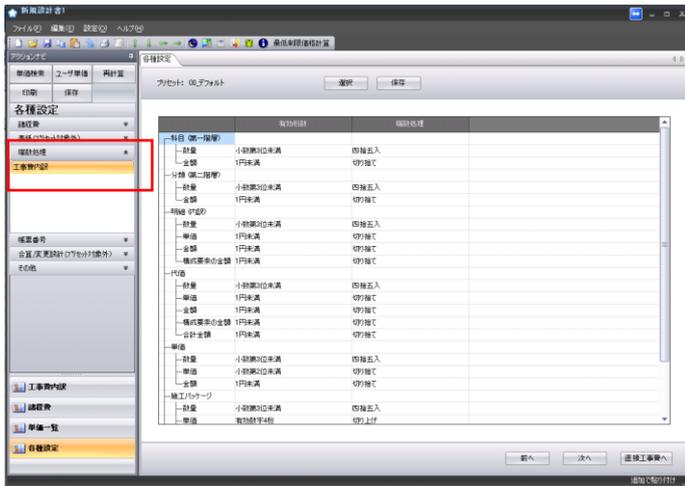
3. 経費計算に、最終の経費計算結果が入ります。

4. 経費計算の「計算方法」「有効数字」「端数処理」も指示に合うように設定します。

5. 「PDF出力」をクリックすると、PDFビューアが起動します。

注意：印刷する PC に、必ず PDF ビューアを事前にインストールすること（通常は殆どの PC に、ADOBE の AcrobatReader はすでにインストールされています）。実際の印刷は、PDF ビューアで行います。

## 工事費内訳の端数処理の設定



### 工事費内訳の端数処理の設定

各種設定/端数処理で工事費内訳の各種別の行に対して、丸め端数処理の設定ができます。

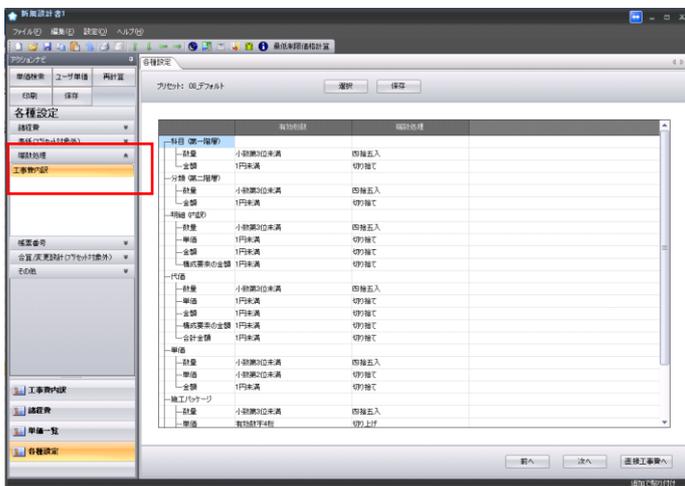
注意：

数量、単価、金額の設定は、その種別が使用されている行に対しての設定です。

代価、内訳の詳細行の金額への設定は、それぞれの「構成要素の金額」で行います。

代価、内訳の詳細行の合計金額への設定は、それぞれの「合計金額」で行います。

## 合算、変更設計の設定



### 合算、変更設計の設定

各種設定/合算、変更設計で設定ができます。

注意：

合算の場合、一旦設定が行ったら、合算された全ての設計書のファイル名を変更しないでください。

経費計算時、全ての合算設計書に対して行うためです。

変更設計の場合、変更前の設計を修正してください。

## 頂 2014 のユーザのお客様へ

### 頂 2015、頂 2014 の使い分け

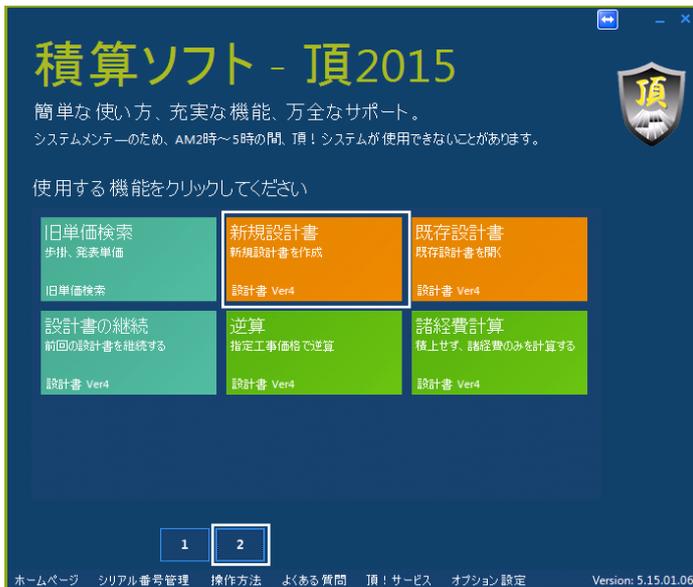
「頂 2015」は「頂 2014」の機能を継承し、大きく変わりました。より多くの機能、より柔軟な設定ができる反面、「頂 2014」と完全互換ではなくなります。「頂 2015」「頂 2014」を使い分ける必要があります。

「頂 2015」：2015 年度の新規工事

「頂 2014」：既に「頂 2014」で作成した設計書で、変更設計が必要とするもの。

2015 年度の新規工事の作成は推奨しません。

## 「頂 2014」の起動

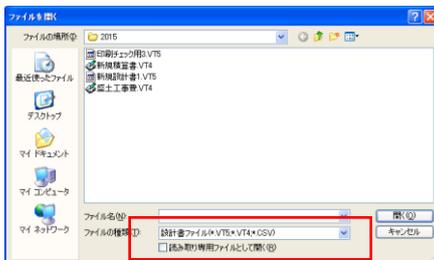


起動画面の 2 ページ目

新規設計書、既存設計書など従来通りに使えます。

旧単価検索はそれよりも古い「頂」2013 年春版に入っている単価検索で、指示のない限り、使わないでください。

## 頂 2015 で頂 2014 の設計書を開く



「頂 2014」の設計書 (.VT4) を「頂 2015」で開くことができます。但し、変換できるものは、“直接工事費”と“共通仮設費積上額”のみで、「頂 2015」の経費設定項目が多いため、工事種類、経費条件などは「頂 2015」の中で新たに設定する必要があります。

## 機能的な差異

機能	頂 2014	頂 2015
設計書の保存	設計書で何かしら変更する度に、保存をしている。	明示的に保存し、Word や Excel と同様の操作方法で分かり易い。
設計書で既に存在する代価/単価を再度単価検索から転送する	設計書に既に存在する代価単価が有効になり、単価検索で見た単価が転送されない場合がある。	設計書に既に存在する代価/単価が上書きされ、単価検索のデータが常に有効になります。
施工パッケージの転送	単価として転送し、施工パッケージの詳細を設計書の中で確認、変更ができない。	施工パッケージのまま転送し、設計書の中でも施工パッケージの詳細を確認、変更ができる。
夜間工事、亜熱帯工事補正	労務費種類と関係なく、一律補正で、労務費種類毎の補正ができない。	労務費種類毎の賃金比に対応する。夜間工事補正を行う前に、単価検索を開き、基礎単価の単価年度を正しく設定する必要がある。(賃金比は毎年変わるため)。
単価表 (内訳、代価) 番号の採番	印刷時に自動採番し、採番方法は「作成順」の 1 種類しかない。	各種設定の「帳票番号」で採番を行う。採番方法に柔軟性が増加。
管材費、処分費の自動集計	名称でないと反応せず、代価の詳細行に対応できない。	行の属性 (集計対象) の設定で行い、代価の詳細行にも対応が可能。